

ササラまつり



令和8年9月1日現在

世帯数	1,003 戸
人口	2,224 人
男	1,096 人
女	1,128 人



8月14日(金)、内田公民館・内田地区福祉ひろばにて「内田ササラまつり」が開催されました。

午後から雷鳴が響き天候が不安視されましたが、幸いにも雨が降ることなく、無事開催することができました。

今年も明善中学校の皆さんがボランティアとして参加してくださり、準備のテント設置から始まり、屋台での調理接客まで元氣いっぱい、まつりを盛り上げてくださいました。明善中学校の皆さん、ありがとうございました。

午後5時からの開会式が終ると、ササラ踊りが始まりました。

ササラ踊り実行会の皆さんの演奏に合わせて、小さなお子さんから大人まで一緒になつて踊りを楽しみました。

「ササラ踊りの発祥は鎌倉時代。朝廷に献上する愛馬を送り出す際の身振り、手振りが踊りの由来と言われている」というお話が実行会会長からありました。

踊りが終わると屋台での飲食の提供がスタート。やきとり・やきそば・かき氷・わたあめ・とうもろこし等が無料で提供されました。多くの方々が屋台に並ばれて大変盛況でした。

子どもササラまつりコーナーではわなげ・ヨーヨーすく

いといったお楽しみコーナーが設けられ、多くのお子さんが楽しんでいました。

公民館正面では、消防団の方々による消火器の的当てイベントが開催されました。楽しみながら消火器の使用方法を学べる有意義な内容でした。

日が落ちた午後7時からビンゴ大会がスタート。会場の多くの方が参加され、モニターに数字が表示されると各所で「あった」という声が上がりました。



閉会式が終わるとファイナルレ

を飾る打ち上げ花火。会場のすぐ近くから上がる花火はほぼ真上から降り注ぐ煌めきとなり、遠くから眺める花火とは異なる迫力と美しさでした。

内田のササラ踊りは、昭和51年(1976年)に松本市重要無形民俗文化財に指定されました。今年は指定50年の節目となります。貴重な文化を継承しながら地域の交流の場でもあるこの催しが、来年以降も引き続き開催できるように願います。

第7町会 小澤 敦志



子ども防災合宿

7月24日(金)～25日(土)にかけて子ども防災合宿がありました。毎年行われているこの事業は、災害について学びながら、実際に様々な体験をする合宿です。

今年は25名の参加者がいました。更に今回は小中学生だけでなく、高校生も参加してくれました。

今年の夕食は焼きそばと蒸しパン！

災害時を想定してアイラップという耐熱のポリ袋に食材を入れ湯煎してつくりました。

普段とは作り方の違う焼きそばに参加者は少し戸惑いながらも美味しく食べていました。お代わりをする子もいて、好評でした。

夕食を終えたらモルック大会。



モルックは相手チームより早く50点ピッタリになる事を競う競技です。そして、50点を

超えると25点からやり直し。残り数点が遠く、みんな頭を抱えていました。

夜は、ダンボールベッドの組み立てをスタッフに教わりながらやりました。ダンボールベッドは組み立てて終わりではありません。子ども達は実際にそのベッドに寝て一晩過ごしました。

いざという時、この二日間の経験を生かしてほしいです。

最後にお手伝いただいたスタッフの皆様ありがとうございました。

アイラップ焼きそば・蒸しパン

◆焼きそば◆

焼きそば1人分
カット野菜 1/2袋
ベーコン 1/2パック
焼きそば麺 1袋

- (1) カット野菜の袋に水を入れて口を持ってじゃぶじゃぶと洗い水を切る。
- (2) アイラップにカット野菜を入れて、その上に焼きそば麺を入れ、粉末ソースをかける。
- (3) (2)にベーコンをほぐして入れる。
- (4) (3)に水を小さじ1(分量外)入れ、空気を抜いて袋の上のほうで結び、鍋に入れ、蓋をして5分湯煎したら火を止め、そのまま5分蒸らす。
- (5) 袋の上から麺をほぐして全体を混ぜたら出来上がり。

※麺は加熱前にほぐすとボロボロになるので、加熱後にほぐしてください。

◆蒸しパン◆

ホットケーキミックス 25g
水 25ml
チョコチップorレーズン 適量

- (1) ポリ袋に材料を全て入れてよく混ぜ、なるべく空気を抜いてねじり上げて、袋の上の方を結ぶ。
- (2) 鍋に入れて、約10分間加熱し、火を止めて3分間蒸らす。

水生昆虫観察会

8月18日(火) 水生昆虫観察会が行われました。講師は松本ホタル学会の皆さんです。

公民館のすぐ横を流れる塩沢川で、色々な生き物を捕まえました。

あちらこちらから、「あいた」「見つけたー！」という声が飛び交い、子ども達は持つてきたカゴに生き物を入れていました。

その後、公民館に戻り、松本ホタル学会の皆さんに解説をしてもらいながら、自分たちの捕まえてきた生き物を観察しました。

今後も地域の自然を大切にしてくれと嬉しいのです。



内田地区球技大会結果

7月5日(日)開催

- ◆ソフトバレー
 - 優勝 3-Aチーム
 - 準優勝 8チーム
 - 第三位 2チーム
- ◆ゲートボール
 - 優勝 2チーム
 - 準優勝 6チーム
 - 第三位 5チーム
- ◆ボッチャ
 - 優勝 1-Bチーム
 - 準優勝 6チーム
 - 第三位 4チーム

東南ブロック球技大会結果

8月30日(日)開催

- 内田地区順位
- ◆新卓球 6位
- ◆バドミントン 2位
- ◆マレットゴルフ

- ◆軟式野球 雨天のため中止
- ◆ソフトバレー 雨天のため中止

- ◆フリーの部 3位
- ◆40歳以上の部 4位

(内田・寿合同チーム)

●参加された皆さん、役員としてかわった皆さん、お疲れ様でした！

つれづれ編集記

娘が二十歳を迎える。着物で記念の写真を撮りたいと思うけれど、さて肝心の着物はどうしよう。

私が主宰する手仕事教室の参加者様に、ふとそんな話をした。すると、46年前ご本人が成人式に着た着物を、ぜひ着てほしいとおっしゃってくださった。その方は、二十歳で婚約したので、この着物を着る機会は、成人式と、結婚一ヶ月後に参列したご友人の結婚式の、たった二度だった。お子さんは男の子お二人。お嫁さんはお二人とも背が小さく、この着物の出番がなかったそう。その着物を譲ったお母様は去年鬼籍に入られた。そのため、もし着てもらえたら大変な供養になるとおっしゃってくださった。それはそれは豪華な着物で、帯は丸帯という希少なものだそう。着物に対して知識ゼロだったから借ります！と気楽にお願いしてしまっ。着付けてくださった方々が「これはすごい」と口々におっしゃるのを耳にして、これは大変なものをお借りしてしまったと気付いた。撮影を終えて、娘はこんなにくれてありがたうと言ってくれた。本当によい記念になったと思う。

第4町会 横山 美和